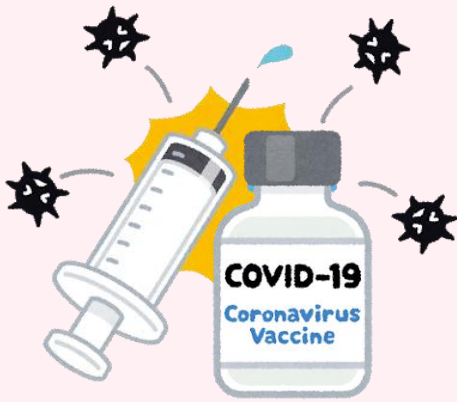


# 新型コロナウイルスの ワクチンについて

## IBDの人もワクチンう ってもいいの？



### ① ワクチンとはどのようなものですか？

→ 一般に、感染症にかかると、原因となる病原体（ウイルスなど）に対する「免疫」（抵抗力）ができます。免疫ができることで、その感染症に再びかかりにくくなったり、かかっても症状が軽くなったりするようになります。ワクチンはこの仕組みを使って免疫をつけるものです。新型コロナウイルスワクチンのうちファイザー社、モデルナ社のものは、病原体の一部の情報（mRNAという遺伝情報）を使用して作成したワクチン。ワクチンが人の細胞に取り込まれると、病原体であるウイルスの一部のたんぱく質が作られ、これに免疫を獲得し感染を予防します。

### ② 炎症性腸疾患 (IBD) があってもワクチン接種は可能ですか？ 免疫抑制剤を使用している場合でも打ってもいいですか？

→ 接種可能です。免疫抑制療法（ステロイド、アザチオプリン、抗TNF $\alpha$ 抗体など免疫の機能を低下させる治療）を行なっている場合でも、生ワクチン（病原体の毒性を弱めてあるが病原体が活着しているワクチン）ではないため接種可能です。

### ③ ワクチンは有効ですか？

→ 90%以上の発症予防効果（ワクチンを打った人が打たない場合に比べて新型コロナウイルスによる症状を発症する確率が10分の1以下になること）とともに重症化も防ぐことができると報告されています。

### ④ ワクチンは安全ですか？

→ 一般的に、生ワクチン以外のワクチンは免疫抑制療法の有無に関わらず、IBD患者さんに安全と考えられています。新型コロナワクチンもインフルエンザのワクチンと比較しても十分に安全とされています。インフルエンザワクチン同様に、注射した場所が腫れて痛んだり、微熱や頭痛が出たりという軽度な症状（副反応）が出ることがあります。重篤な副作用は少なく、アナフィラキシーは100万人当たり2.5-11.1人（インフルエンザワクチンは1.3人抗生物質のペニシリンは100-400人）とされていますが、念のため接種後数時間は医療従事者による経過観察を受けてください。長期の安全性についてはまだデータがありませんが、理論的には大きな心配はないと考えられています。

### ⑤ IBDの人は優先的に接種を受けられますか？

政府は、医療従事者、高齢者の次に持病のある方、免疫抑制療法を行なっている方を優先するという方針を表明していますが、いつ行うのかなど詳細は発表されていません。

今後もさらにワクチンに関する有効性や安全性について新たな情報が出てくるので、**随時主治医とご相談ください。**